

2022年度

事業計画書

公益財団法人 日産厚生会

当会の2022年度の事業活動計画は以下のとおりである。

1. 医学研究の推進

医学研究所の統括の下、各施設がそれぞれの施設特性に応じた臨床医学研究や予防医学研究の活動を実践し、その成果を学会発表や学術論文として外部に発信すると共に、医学フォーラムや院内研修会等を通じて、知識・技術の普遍化を促し、厚生会全体の医療水準の向上を図る。

①医学研究所

各施設の研究計画、研究活動を統括すると共に、関係諸学会への参画を継続的に支援する。毎年開催する医学フォーラムについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から過去2年連続でオンデマンド配信となったが、今年度（第9回）は一堂に会することを期し、各施設・各部門の日々の研究成果の発表機会を提供すると共に、全体の研究マインド向上を図る。

昨年度に引き続き、玉川病院と他施設との共同研究や共同発表等への取り組みの具現化を推進し、厚生会全体としてより一層の研究活動実績向上を支援する。

②玉川病院

各研究センター（透析、気胸、ヘルニア、股関節、リハビリ）・診療部・医療技術部及び看護部それぞれにおける研究活動への取り組みを推進すると共に、研究成果の啓発・普及を図る。

③佐倉厚生園病院・玉川クリニック・診療所他

医学研究所との連携を密にして、各々の施設特性に応じた研究活動を推進する。

- ・回復期・慢性期病棟、介護施設の各部におけるデータ集積と分析による医学研究
- ・健診データ等の集積と分析による予防医学研究

各施設における具体的な研究・調査の内容については4頁以降の(別表)のとおり。

2. 社会への貢献

(1) 医療活動の質の向上

それぞれの施設状況に応じ、救急医療体制の充実化、総合診療体制の整備、大学病院等高度先進医療機関との連携強化、チーム医療の実践強化等の取組みを進展させ、提供する医療の質の向上に務める。

(2) 保健予防活動、健康普及啓発活動の推進

各施設において、人間ドック、生活習慣病検診、乳がん検診その他各種検診での検査項目の充実や検査精度の向上による疾病予防や早期発見に努めると共に、各検診の受診率向上を図る。

玉川病院や佐倉厚生園病院では、従来から行っている各種教室（糖尿病教室、腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室等）、病院祭や看護の日といった一般市民向け院内公開行事等やAED講習会、熱中症講習会、市民公開講座等の院外における啓発活動等については、新型コロナウイルス感染予防対応の制約のもと、可能な範囲で実施する。

また、診療所やクリニックにおいては、産業医としての講演活動等において、生活習慣病予防等をはじめとする、様々な健康普及啓発活動を展開する。

更に、玉川病院では、世田谷区・地域保健所・医師会等の要請に応え、医師、看護師、PT・OT及びST等を、講演会・講習会に講師として派遣し協力する。

3. 教育・人材育成の推進

(1) 初期臨床研修医・専門医制度の専攻医及び特定看護師の育成、医学部実習生の受入れ
(玉川病院)

- ・ 基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院として、初期臨床研修医の育成を行う。
- ・ 新専門医制度における内科領域の基幹病院として、専攻医の育成を行う。さらに連携病院として関連病院からの要請により、専攻医を受入れ育成を行う。
- ・ 特定行為に係る看護師研修制度における指定研修機関として、看護師の育成を行う。
- ・ 関連大学からの要請により、医学部実習生を受入れ実習指導を行う。

(佐倉厚生園病院)

- ・ 協力型臨床研修施設として、初期臨床研修医の育成を行う。

(診療所・玉川クリニック)

- ・ 初期臨床研修医に対して地域医療研修の実習指導を行う。

(2) その他医療・介護関連の実習指導

玉川病院、佐倉厚生園病院、佐倉ホワイエにおいては、医療、看護、リハビリ、臨床検査、栄養、薬剤、メディカル・ソーシャル・ワーカー、介護福祉、医療事務等の学生に対し、実習指導を行うとともに、要請に応じて講師の派遣を行う。

4. 医療活動の推進及び設備の充実

(1) 当年度の想定患者数、健診者数は、各施設とも新型コロナウイルス対応を講じた中で
3頁(参考)のとおり見込んでいる。

(2) 機器・設備の整備等

(玉川病院)

- ① ナースコールシステム入替により、患者対応のスムーズ化を図る。
- ② 新人事システムの稼働により、勤務状況の見える化を図り、職員の働き方改革を推進する。
- ③ 南棟2階及びホール・薬局の空調機を交換し、患者環境の向上・充実化と省電力化を図る。
- ④ 薬剤管理システムの導入による確実にスムーズな業務の遂行を図る。
- ⑤ 眼科手術用顕微鏡及び白内障手術装置の入替により安全性の向上を図る。
- ⑥ 新棟建設について具体的な検討を進める。

(佐倉厚生園病院)

- ① 新館外壁等大規模修繕工事を実施し、診療及び療養環境の向上を図る。
- ② 電子カルテシステムの導入による部門間オーダー、医療記録、文書作成の効率化を図る。

(玉川クリニック)

- ① 婦人超音波検査機を更新し、診断能力の向上を図る。
- ② 健診科受付窓口の新設により一般外来受付との分離を図り、患者対応の効率化を図る。

(診療所)

- ① 腹部超音波診断装置を更新し、診断能力の向上を図る。

(ホワイエ)

- ① 通所リハビリテーション(デイケア)浴室の改修を行い、療養環境の改善向上を図る。
- ② ナースコールシステムを更新し、患者サービスの向上と職員の業務改善を図る。

以上

(参考)

想定患者数、健診者数等

(1) 入院患者数 (単位:人)

種 別	玉 川 病 院			
	2022年度予算		2021年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
一 般	85,849	235.2	209.9	25.3
回復期リハ	13,505	37.0	36.5	0.5
地域包括ケア	12,522	34.3	34.3	0.0
計 A	111,876	306.5	280.7	25.8
2021年度見込 B	102,444			
2021年度予算 C	112,709			
2021年度達成率 B/C	91%			
対前年度見込 A/B	109%			

(単位:人)

種 別	佐 倉 厚 生 園 病 院			
	2022年度予算		2021年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
療 養	48,545	133.0	128.0	5.0
回復期リハ	15,695	43.0	42.2	0.8
計 A	64,240	176.0	170.2	5.8
2021年度見込 B	62,106			
2021年度予算 C	64,763			
2021年度達成率 B/C	96%			
対前年度見込 A/B	103%			

(2) 外来患者数 (単位:人)

科 別	玉川病院		佐倉厚生園病院		診療所		玉川クリニック	
	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均
2022年度予算 A	189,397	646.4	18,004	61.4	10,758	44.3	23,728	77.5
2021年度見込 B	175,640	599.5	17,722	60.7	10,758	44.5	23,231	75.9
2021年度予算 C	181,960	621.0	18,327	62.8	12,898	53.3	22,590	73.3
2021年度達成率 B/C	97%		97%		83%		103%	
対前年度見込 A/B	108%		102%		100%		102%	

(3) 健診者数 (単位:人)

種 別	玉川病院	佐倉厚生園病院	診療所	玉川クリニック	合 計
	延人員	延人員	延人員	延人員	延人員
各種健診	8,550	7,350	15,618	5,310	36,828
人間ドック	450	2,650	1,254	590	4,944
計 A	9,000	10,000	16,872	5,900	41,772
2021年度見込 B	9,470	10,535	16,872	5,690	42,567
2021年度予算 C	6,814	12,848	16,451	5,650	41,763
2021年度達成率 B/C	139%	82%	103%	101%	102%
対前年度見込 A/B	95%	95%	100%	104%	98%

(4) 佐倉ホワイトエ利用者数 (単位:人)

区 分	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
2022年度予算 A	28,470	78.0	11,088	36.0
2021年度見込 B	27,922	76.5	10,564	34.3
2021年度予算 C	28,835	79.0	9,856	32.0
2021年度達成率 B/C	97%		107%	
対前年度見込 A/B	102%		105%	

(別表) 研究・調査

I. 玉川病院

1. 研究センター

(1) 透析センター・腎臓内科

- ① 外来慢性腎臓病 (CKD) チーム医療における CKD 管理目標値の遵守状況と腎予後との関連
- ② 透析前低カリウム血症に対する透析中のカリウム補充の検討
- ③ CKD 患者の心血管合併症に対するチーム医療の有用性
- ④ 玉川 CKD 対策ネットワークの病診連携に及ぼす影響
- ⑤ 維持透析患者に合併する下肢末梢動脈病変 (PAD) および重症虚血肢 (CLI) に対する LDL 吸着療法の効果
- ⑥ 臨床工学技士による血管エコーを用いた血液透析患者のバスキュラーアクセス管理の有用性
- ⑦ 外来維持血液透析患者に対する透析中の運動療法の臨床効果
- ⑧ 腹膜透析 (PD) 療法の地域における普及への取り組み
- ⑨ 透析センターにおける災害時透析医療への取り組み

(2) 気胸研究センター

- ① リンパ脈管筋腫症
 - 1) リンパ脈管筋腫症の組織培養法の検討
 - 2) シロリムス投与による気胸発症の予防効果
- ② BHD 症候群
 - 1) BHD 症候群における DNA 解析と疫学調査
 - 2) BHD 症候群における腎病変および関病変の MRI 画像診断の検討
- ③ 胸腔子宮内膜症
 - 1) 胸腔子宮内膜症における横隔膜 MRI 診断の有用性
 - 2) 胸腔子宮内膜症における病期分類の有用性
 - 3) 胸腔子宮内膜症における胸水培養による診断法
 - 4) 胸腔子宮内膜症の発症メカニズムの解明と新しいバイオマーカーの検討
 - 5) 胸腔子宮内膜症の胸壁および肺病変の病理学的検討
 - 6) 胸腔子宮内膜症の術後再発に対する TPC 治療の検討
 - 7) 術前局所麻酔下胸腔鏡検査の有用性
 - 8) 胸腔子宮内膜症における術後ホルモン療法の有用性
 - 9) 胸腔子宮内膜症における横隔膜切除術後の呼吸機能
 - 10) 胸腔子宮内膜症における横隔膜病変のマッピング
 - 11) 胸腔子宮内膜症における肺嚢胞の意義
- ④ その他
 - 1) 成人自然気胸の術後再発予防に対する dual covering 法の効果
 - 2) 若年者肺気腫の画像診断と病理組織の検討
 - 3) 青年期原発性自然気胸の術後再発様式の検討
 - 4) 若年性肺気腫の病態解明
 - 5) 特発性血気胸の実態調査 (多施設共同研究)
 - 6) 難治性遅延性気漏の治療法として TGF 治療の有用性
 - 7) 女性自然気胸の原因診断における胸部 CT の有用性
 - 8) 間質性肺炎における難治性気漏に対する胸腔鏡下気管支塞栓術の検討
 - 9) マルフアン症候群における気胸の臨床的特徴
 - 10) 原発性自然気胸における初回発症時の虚脱度に応じた治療方針の検討
 - 11) 原発性自然気胸に対する単孔式胸腔鏡手術の有用性

- 12) 自然気胸における肺嚢胞の新分類
- 13) 自然気胸術後に気漏が遷延した症例の予後調査
- 14) 自然気胸入院後の予後調査（多施設共同研究）

(3) ヘルニアセンター

- ① 日本ヘルニア学会鼠径ヘルニア分類・ガイドライン改訂への対応
- ② 鼠径部ヘルニアの画像診断と臨床実績の対比・研究
- ③ 小児腹腔鏡下ヘルニア修復術（LPEC 法）の展開
- ④ 女性 Nuck 管水腫と子宮内膜症の関連に関する臨床的研究および治療法の個別化に関する研究
- ⑤ 食道裂孔ヘルニアの鏡視下手術法の展開
- ⑥ De Novo 型、Sliding 型ヘルニアの病態と治療戦略の研究
- ⑦ 前立腺癌、膀胱癌術後症例に対する安全・確実な治療戦略の研究
- ⑧ 鏡視下手術再発危険群の解析とその対策の研究
- ⑨ 腹壁癒痕ヘルニアの腹腔鏡下治療の展開
- ⑩ 嵌頓ヘルニアの鏡視下手術による治療法の確立
- ⑪ 術後慢性疼痛症例に対する包括的治療法の研究
- ⑫ 精索脂肪腫、腹膜前脂肪腫と鼠径ヘルニアに関する研究

(4) 股関節センター

- ① 変形性股関節症に対する新しい人工関節治療（術前計画）法の研究の継続
- ② Corail 型 ステムの臨床比較
- ③ SSI における α -defensin 判定効果の検討
- ④ 日本人の正常骨盤・股関節の形態計測
- ⑤ 人工股関節再置換術手術手技における適応と術式決定法の確立
- ⑥ 変形性股関節症の発症メカニズムの解明への研究
- ⑦ Metal on Metal 人工股関節置換術の術後成績
- ⑧ 大腿骨近位形態の異常と臨床的ステム前捻の相違における検討
- ⑨ ステム形状の相違に伴う術後初期荷重の相違についての検討
- ⑩ MAKO robotic surgery THA の手術精度における検討
- ⑪ THA における forgotten joint をもたらす因子の検討
- ⑫ インプラント周囲骨折に対する治療法の検討と確立
- ⑬ Periprosthetic joint infection (PJI) に対する治療法の検討
- ⑭ 近位固定型 stem (Metha) の臨床成績に影響する因子の検討

(5) リハビリテーションセンター

- ① 上肢リハビリ装置 Cocoroe AR2 ロボットを用いた脳卒中での上肢リハビリへの応用とその改善に関する検討
- ② MELTIN MMI 社が開発手指用ロボットニューロリハビリテーション装置を用いた他施設での機能評価への参加
- ③ 経頭蓋直流刺激、経頭蓋反復時期刺激を用いた脳卒中後高次脳機能障害、運動麻痺の改善に関する検討
- ④ 痙縮に対するボトックス治療での効果の検討

2. 各診療科

(1) 循環器内科

- ① 心不全療養指導士を中心とした多職種チームによる心不全患者教育入院についての検討
- ② レーザー血流計 ポケット LDF による下肢動脈形成術前後の治療評価

- ③ 心肺運動負荷試験装置による安静時の慢性腎不全患者と健常者のデータ比較
- ④ 超高齢者における造影剤関連腎症の発症の検討
- ⑤ オンラインによる心不全患者の外来指導と地域連携の確立についての検討

(2) 呼吸器内科

- ① 呼吸器疾患患者の夜間酸素飽和度低下に関する研究
- ② 呼吸器疾患患者の四肢筋肉量の経年的変化に関する研究
- ③ 呼吸器疾患患者の6分歩行試験の経年的変化に関する研究
- ④ 慢性咳嗽患者における呼気一酸化窒素測定の有用性に関する研究
- ⑤ 呼吸器疾患患者の診療の質に関する研究
- ⑥ 呼吸器疾患患者の入院バリエーションの研究
- ⑦ 呼吸器疾患患者のポリファーマの実態に関する研究
- ⑧ 呼吸器疾患患者の効率的な継続指示（入院）に関する研究
- ⑨ 呼吸器疾患患者のACPの現状に関する研究
- ⑩ 超音波気管支鏡検査（EBUS+TBNA, EBUS+GS）の臨床成績に関する研究
- ⑪ 新型コロナウイルス肺炎後遺症による呼吸障害に関する研究

(3) 消化器内科

- ① 胃型胃腫瘍の臨床的特徴
- ② 胆膵疾患における内視鏡的超音波検査（EUS）の有効性
- ③ 炎症性腸疾患患者の寛解維持に寄与する因子についての検討
- ④ 胃瘻造設患者とサルコペニア
- ⑤ 慢性便秘症の診療の現状

(4) 糖尿病代謝内科

- ① 独来高齢者の実地調査
- ② 2型糖尿病患者に対する腎保護薬としてのダパグリフロジン投与に関する検討
- ③ 当院における週1回投与型GLP-1受容体作動薬セマグルチドの使用経験について

(5) 脳神経内科

- ① 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後に出現した神経症状の検討
- ② 新型コロナウイルス感染症患者の血液中CCL17による重症度判定（第5波）
- ③ 新型コロナウイルス感染症患者の活性型ビタミンD_{1,25(OH)2}ビタミンD測定意義の検討（第4波）
- ④ 新型コロナウイルス感染症の高齢発症者の臨床的特徴の検討

(6) 消化器・一般外科

[消化器・一般外科]

- ① 高齢者の至適外科治療戦略；
平均寿命を越える超高齢者の外科治療の機会が増加しているが、適応、術式、周術期管理についての一定の見解はなく、下記の臨床研究を計画。
 - 1) 腫瘍学的、機能的（長期成績）、合併症（術後合併症、入院期間などの短期成績）からみた至適手術（消化器癌の至適リンパ節郭清範囲、至適再建方法など）。
 - 2) 術後早期回復退院と、退院後ADLを維持するための、多職種病棟スタッフ（麻酔科、手術室スタッフ、栄養士、薬剤師、理学療法士）と協力し日本版ERASであるESSENCEプロジェクトに準じた周術期管理を行っている。高齢者に適した周術期包括的プログラム（術前術後の筋力維持に有効なリハビリ、栄養管理、社会的支援などを含む）の設定を目標とする。

- ② 患者背景を優先した化学療法；
- 1) 併存疾患を有する、あるいは75歳以上の高齢者に対する化学療法について、用量や投与スケジュールはガイドラインに明確に示されず、個々のケースにおいて主治医が検討し施行しているのが本邦の現状。併存疾患を有する、あるいは75歳以上の高齢者に対する化学療法について薬剤レジメン選択、至適薬剤投与量とスケジュールを、腫瘍縮小効果、予後、合併症（QOL）などから総合的に検討。
 - 2) 医師、薬剤師、看護師、訪問看護師からなる多職種チームによる外来化学療法の利点と課題。
- ③ 高齢者直腸肛門疾患に対する至適術式；
- 75歳以上高齢者は、直腸の貯留能、骨盤底筋群、括約筋などの加齢による生理的排便機能低下を有する。高齢者は全身的併存疾患もあり、可及的に侵襲を小さくする必要がある。短期（合併症）、長期（再発再燃、QOL）からみた至適手術術式を検討する。特に直腸脱手術における、Delorme手術に前方挙筋形成術を加えた新しい術式を考案実施しているが、本術式の有効性と課題についてデータベース作成し検討する。
- ④ 下肢静脈瘤に対する低侵襲手術治療；
- 下肢静脈瘤に対するRFAなどの低侵襲手術治療を短期・長期成績から評価。
- ⑤ 外科研修における早期から中～高度難易度手術（外科専門医カリキュラムで提示される）を執刀する利点と問題点の研究；
- 外科志望者の減少が著しい。技術取得に長期間を要することも一因である。研修早期から、中～高難度手術を執刀医として経験することは、修練医のモチベーションとなって、技術を早期に獲得できる期待がもてる。一方、経験の少なさによる技術の未熟さから合併症の増加が懸念される。当院で行っている若手外科医が執刀、学会認定教育医が第一助手として指導する体制を検証し、利点と欠点を考察する。
- ⑥ 上部消化管手術における栄養管理の研究；
- 1) 上部消化管手術においては各種栄養素の消化吸収が劇的に変化するが、亜鉛など微量元素の変動は未知の部分が多い。周術期、術後の血清亜鉛濃度を測定し、亜鉛補充の必要性を明らかにする。
 - 2) 医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士からなる多職種チームで行う、”日本版ERASであるESSENCEプロジェクト”に準じた当院の栄養管理について検証する。
- ⑦ ICG蛍光法による腸管血流測定の研究；
- 当科で行っている消化管再建（吻合）におけるICG蛍光法による血流確認の有効性を検証する。
- ⑧ 腹壁閉鎖手技の研究；
- 術後の外科的感染（SSI）が懸念される腹部汚染手術において、皮下筋膜および真皮縫合を抗菌縫合糸による連続縫合で行うことのSSI予防効果を統計解析。今年度は、真皮は解放創にして局所陰圧療法（NPWT）を加える管理の有効性について研究開始する。
- ⑨ Upside down stomachを伴う食道裂孔ヘルニア；
- 至適外科治療方法を確立すること。

[乳腺外科]

- ① ICG蛍光法によるセンチネルリンパ節生検手技の工夫とその検証。
- ② Stathmin1, Survivin 遺伝子の乳癌における予後因子、治療効果予測因子としての意義に関する研究；国際医療福祉大学病理部と共同研究。
- ③ 乳腺 Neuroendocrine carcinoma の臨床病理学的検討（病理科 故藤原睦憲先生との共同研究）；新たな症例を加えて予後など解析。

(7) 脳神経外科

- ① 脳卒中チーム体制の確立
- ② 急性期脳梗塞に対する急性期血栓回収療法を行う体制の確立
- ③ 急性期脳卒中患者に対する画像診断の検討と体制の確立
- ④ 急性期脳卒中患者の栄養管理とその予後の検討

(8) 整形外科

- ① 膝関節外科における新しい治療法の研究
- ② 大腿骨近位部骨折成績不良例の検討
- ③ 大腿骨頸部骨折に対する治療；各種人工骨頭置換術の成績比較
- ④ MAKO robotic surgery TKA における問題点と解決法の検討
- ⑤ 骨粗鬆症リエゾンサービスの院内・院外・地域での確立

(9) 皮膚科

- ① 皮膚疾患における光線療法（ナローバンド UVB, エキシマライト）の有効な治療方法の確立と効果の検討
- ② アトピー性皮膚炎における生物製剤、JAK 阻害剤などの新しい治療の効果の検討
- ③ 尋常性乾癬における生物製剤、免疫調整剤の適切な使用の検討
- ④ 薬疹における原因薬剤の同定と服薬指導による予防
- ⑤ 食物アレルギー、アナフィラキシーにおける原因物質の同定と生活指導、特に最近問題となっているアクリル樹脂によるアレルギー性接触皮膚炎の解明（血糖自動測定器やジェルネイルなどにも使用）と生活指導
- ⑥ BHD 症候群における皮膚症状の病理学のおよび疫学的研究、診断基準の確立（気胸センターとの共同研究）
- ⑦ 結節性硬化症の皮膚病変に対するラパリムスゲルの有効性の検討（気胸センターとの共同研究）
- ⑧ 褥瘡における創傷被覆剤、持続陰圧吸引療法、外用剤の適切な使用の検討（褥瘡委員会との共同）
- ⑨ ウイルス性発疹症、劇症型溶連菌感染症、Panton-Valentine 陽性の MRSA、疥癬の適切な診断と感染防御対策の確立（感染委員会との共同）
- ⑩ がん治療に使用する分子標的薬の皮膚障害に対する予防的治療の検討（外科、薬剤科との共同）
- ⑪ 人工関節置換術前の金属パッチテスト施行による金属アレルギーの予防（整形外科との共同）

(10) 泌尿器科

- ① 光選択的前立腺蒸散術の臨床成績の集積および 2017 年から新規導入した術式（Vaporization and resection 法）の検討
- ② 光選択的前立腺蒸散術における射精温存術式の検討
- ③ 去勢抵抗性前立腺癌に対する新規治療薬（エンザルタミド、アビラテロン、アパルタミド、ダロルタミド、オラパリブ、カバジタキセル、塩化ラジウム）を組み入れた治療戦略
- ④ PSA 高値症例に対する不必要な前立腺生検を回避するための MRI 検査の評価
- ⑤ 腎細胞癌の集学的治療（手術、分子標的薬、アベルマブ）の検討
- ⑥ 進行膀胱がんに対する放射線化学療法を併用した膀胱温存療法の検討
- ⑦ 小切開創手術（根治的腎摘除術、根治的腎尿管全摘除術、根治的前立腺全摘除術）の展開

(11)産婦人科

- ① 児の出生体重に関する因子の検討
- ② 分娩児出血量に関する因子の検討
- ③ プロウペスによる分娩誘発の検討

(12)眼科

- ① 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術におけるステントの種類による眼圧下降比較
- ② 白内障術後屈折変化に影響する眼内レンズの特性
- ③ Vogt-小柳-原田病患者の長期予後について
- ④ 病的近視眼における点状脈絡膜内層症の発症機序解明

(13)放射線科

- ① 他検査との対比なく、ほぼ無診察下におけるCT&MRI検査の診断精度の検討

(14)麻酔科

- ① 術中使用した制吐剤の違いによる術後制吐効果への影響の検討
- ② 術直前にPCIを施行された患者さんに対する全身麻酔管理の安全性の検討
- ③ 高齢の手術患者における局所麻酔薬による神経ブロックの有効性の検討
- ④ 高齢の大腿骨頸部骨折患者の予後に影響する麻酔管理方法の検討
- ⑤ 高齢の大腿骨頸部骨折患者の手術待機期間と予後の関係の検討
- ⑥ 術前呼吸機能検査結果と周術期呼吸器合併症の検討
- ⑦ 胸部外科手術と整形外科手術における側臥位手術体位と腕神経叢合併症の検討
- ⑧ 同一手術室で手術患者退出から次の手術患者入室までの最低必要時間の検討
- ⑨ 人工股関節全置換術術中のカクテル注射と全身麻酔からの覚醒時間との関係について
- ⑩ 新規上市された麻酔薬「レミマゾラム」による安全な麻酔管理方法の検討
- ⑪ 新規上市された麻酔薬「レミマゾラム」による超高齢者麻酔管理に及ぼす影響
- ⑫ 仙骨硬膜外造影剤を注入した際の造影剤の到達レベルと患者要因の関係について
- ⑬ 高周波治療による神経根ブロック時、その施行時間と治療効果の関係について
- ⑭ うつ状態と疼痛改善の早さに関係性はあるか。K6を用いた検討
- ⑮ 救急救命士気管挿管実習時の指導法と挿管成功率の検討
- ⑯ 非常勤麻酔科医確保とその有効活用に関する検討
- ⑰ 医師不足地域への麻酔科医派遣協力システムの検討
- ⑱ 複数施設での麻酔科医相互補完に関する検討

(15)病理診断科

- ① 免疫染色・遺伝子解析等に関する標本の取り扱い方の最適化への取り組み。

(16)歯科

- ① 人工股関節術後の術後合併症に関連する周術期口腔管理の効果について

3. 医療技術部

(1) 薬剤科

- ① 薬剤投与による有効性・安全性・QOLに関する研究
- ② 病院における薬剤師介入効果に関する研究
- ③ 医薬品安全管理に関する研究
- ④ 医薬品情報提供に関する研究
- ⑤ 院内製剤の安定性に関する研究

(2) 臨床工学科

- ① 血管エコーによるバスキュラーアクセス管理とエコー下穿刺導入への取り組み
- ② 透析後低カリウム血症の寄与因子と透析中カリウム補正の影響
- ③ 当院透析患者におけるフットケア現状と課題 ～臨床工学技士の立場から～
- ④ 腹膜透析における臨床工学技士の役割と展望
- ⑤ 新型コロナ禍における院内勉強会の e-ラーニング活用
- ⑥ 当院におけるペースメーカ遠隔モニタリング業務の現状と今後の課題
- ⑦ 新規導入された人工呼吸器「VOCSN」の使用経験
- ⑧ 自己血回収装置におけるリザーバー不良について
- ⑨ 循環器領域におけるレーザー血流計の使用経験
- ⑩ 当院臨床工学技士におけるスコープオペレーター業務について

(3) 臨床検査科

[生化学・免疫]

- ① 試薬を含め検査結果精度の向上

[輸血]

- ① 血液製剤の適正使用に向けた取り組み
 - ・適正使用・基準値についての周知
 - ・過剰依頼の抑制。
 - ・輸血製剤廃棄率の改善
- ② 輸血の安全運用についての広報
 - ・製剤の正しい取り扱い
- ③ 輸血副作用の周知
- ④ 輸血後感染症検査の意義についての周知、受診率向上への取り組み
- ⑤ 時間外輸血検査の自動化へ向けた検討

[細菌検査]

- ① 感染症（耐性菌）に関する医療スタッフへの教育、適切な検体採取および検体搬送の周知（継続）
- ② A S T チームの取り組みとして血液培養の結果と感受性試験の結果の検証

[病理]

- ① 免疫染色と遺伝子検査の検体の取り扱いの最適化への取り組み

[採血]

- ① 検体の取り違えの防止策の検討

[一般]

- ① 迅速検査の報告時間短縮に向けた取り組み

[血液]

- ① 血液像から得られる血液疾患の検討

[生理]

- ① 心電図検査、超音波検査のパニック値報告症例の検証

(4) リハビリテーション科

- ① 両側 THA 患者に対象にした復職に関するアンケート調査
- ② 術後早期の歩行量が身体機能に与える影響
- ③ 術後の筋委縮が術後歩容に及ぼす影響
- ④ 術後早期経過、各種ステムの術後早期のリハビリテーションにおける荷重時痛の相違
- ⑤ 呼吸器疾患患者の移動能力と握力との関連について
- ⑥ COCOROAR2 のシングルケーススタディ
- ⑦ 脳卒中者の自動車運転実車評価、その後の追跡調査

⑧ 回復期リハビリテーション病棟における活動量の変化に対応した栄養介入の効果

(5) 放射線科

- ① 医療法改正による診療用放射線の安全管理への取り組み
- ② 線量管理システムによる被ばく管理
- ③ 最新再構成による低被ばく CT の検討

(6) 栄養給食科

禁食期間中の栄養管理の実態調査

4. 看護部

- ① 特定行為研修修了者の実践事例
- ② 特定行為研修外部研修協力機関としての報告
- ③ 外来診療機能の効率化 外来クラークへの業務委譲
- ④ 介護科設立2年目の現状評価と看護との協働への取り組み

II. 佐倉厚生園病院

1. 代謝内分泌科

- ① 動脈硬化症と糖および血清リポたんぱく質代謝の研究
- ② 療養病棟における血糖管理

2. 脳神経外科

- ① パーキンソン病における大脳基底核近傍の局所電場電位 (LFP) の機能関連と脳深部刺激療法 (DBS) への応用に関する研究

3. NST 委員会

- ① 慢性期療養型病棟に入院中の後期高齢者・超高齢者に対する NST 介入に伴う症例研究

4. 薬剤科

- ① 高齢者の在宅支援における退院後の服薬状況実態研究
- ② ポリファーマシーに対する症例研究

5. リハビリテーション室

- ① 回復期リハ退院後患者の追跡調査及び症例研究
- ② 回復期病棟における入院時栄養状態から見た転帰先の関係性
- ③ パーキンソン病における集学的治療
- ④ 多職種チームによる包括的排尿ケア

6. 退院支援室

- ① 慢性期医療の退院支援効果と症例研究

7. 看護部教育委員会

- ① 各種症例を基にした看護研究

III. 佐倉ホワイエ

- ① 老健施設の活動による心の活性化

IV. 玉川クリニック

一般診療

- ① 帯状疱疹予防のための新規不活化ワクチン (サブユニットワクチン) シングリックスの実施状況、水痘ワクチン (弱毒化生ワクチン) との比較
- ② 呼気 NO の呼吸器診療における実施状況と有用性について
- ③ ベンゾジアゼピン系睡眠薬と新規非ベンゾジアゼピン系睡眠薬の処方の実態調査

健診業務

- ① サラセミア貧血のスクリーニング
- ② 赤血球恒数の経年的変化について
- ③ 高 LDL 受診者の実態調査
- ④ 高 ALP 受診者の実態調査
- ⑤ 高 AMY 受診者の実態調査

産業医

- ① うつ病患者の職場復帰支援プログラムツール；自律神経機能測定器の有用性について

V. 診療所

- ① 玉川病院外科と協力し、超悪玉コレステロール Small Dense LDL Cholesterol (sd LDL-C) と動脈硬化リスク因子との関連性についてデータの収集と分析を行い、学会発表を行う。
- ② 日本人間ドック学会学術大会において、症例報告を行う。
- ③ 顔面骨形成について、基礎医学である発生学と耳鼻科領域の臨床医学との接点を探究する。
- ④ 膵管内乳頭粘液性新生物 (IPMN) 患者のスクリーニング追跡調査への準備を行う。